

埋文やまがた



2011年9月30日
第47号



清水遺跡(1) (村山市)



森の原遺跡 (村山市)



北原2遺跡 (村山市)



山形城三の丸跡 (山形市)



出張坂城跡 (鶴岡市)

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：yac@yamagatamaibun.or.jp

平成23年度 山形県内の発掘調査

今年度は、農林水産省・国土交通省・県土整備部から委託を受け、16件の発掘調査を実施します。また、発掘調査の終了した遺跡の整理作業を行い、12遺跡の報告書を刊行します。

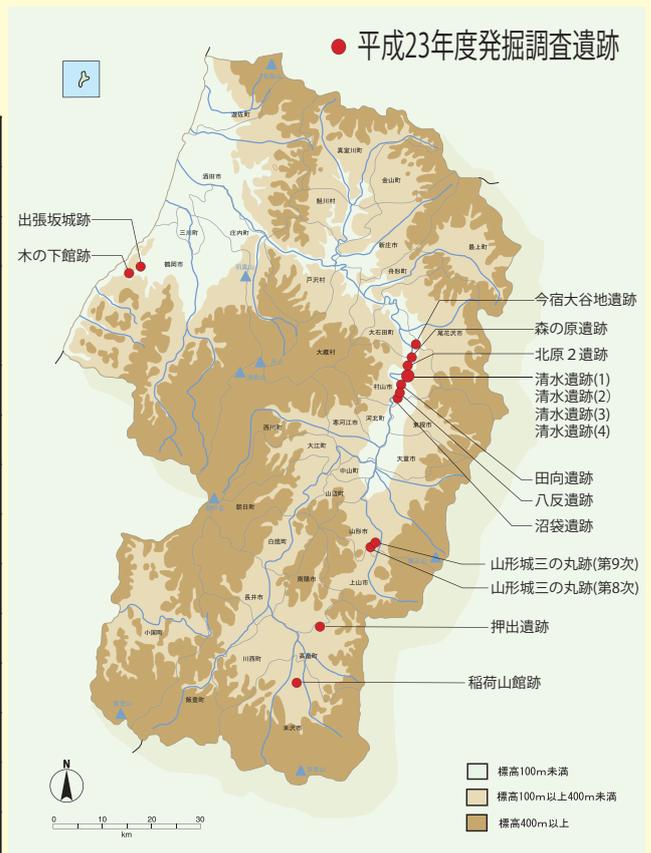
発掘調査事業

(8月25日現在)

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間	報告書の刊行
1	山形城三の丸跡(8次)	山形市	奈良・平安・中世・近世	城館跡	4月18日～7月14日	平成23年度
2	山形城三の丸跡(9次)	山形市	中世・近世	城館跡	5月9日～8月4日	
3	押出遺跡4次	高畠町	縄文	集落跡	10月3日～11月30日	
4	沼袋遺跡	東根市	平安・中世	集落跡	5月17日～11月17日	
5	八反遺跡	東根市	平安	集落跡	5月17日～11月17日	
6	田向遺跡2次	村山市	奈良・平安	集落跡	5月16日～6月13日	
7	清水遺跡(1)2次	村山市	縄文・平安	集落跡	5月16日～10月27日	
8	清水遺跡(2)2次	村山市	縄文・平安	集落跡	5月9日～11月11日	
9	清水遺跡(3)	村山市	縄文・平安	集落跡	5月9日～11月11日	
10	清水遺跡(4)	村山市	縄文・平安	集落跡	7月20日～10月28日	
11	北原2遺跡2次	村山市	縄文・平安	集落跡	5月9日～6月30日	
12	森の原遺跡2次	村山市	縄文・平安	集落跡	5月17日～9月30日	
13	木の下館跡4次	鶴岡市	中世	集落跡	9月26日～11月30日	平成23年度
14	出張坂城跡	鶴岡市	中世	城館跡	5月9日～6月17日	平成23年度
15	稻荷山館跡3次	米沢市	中世	城館跡	8月25日～9月22日	
16	今宿大谷地遺跡	大石田町	縄文	集落跡	10月11日～11月11日	

整理作業

No	遺跡名	市町村	業務内容
1	山形城三の丸跡5・7・8次	山形市	報告書作成・刊行
2	高瀬山遺跡(H0)3期1～3次	寒河江市	報告書作成・刊行
3	堤屋敷遺跡 下屋敷遺跡	米沢市	報告書作成・刊行
4	西谷地b遺跡1・2次	米沢市	報告書作成
5	北原4遺跡	村山市	報告書作成
6	川前2遺跡3・4次	山形市	報告書作成・刊行
7	行司免遺跡1～4次	鶴岡市	報告書作成・刊行
8	矢馳A遺跡2～4次	鶴岡市	報告書作成・刊行
9	川内袋遺跡	鶴岡市	報告書作成・刊行
10	木の下館跡1～4次	鶴岡市	報告書作成・刊行
11	作野遺跡3次	村山市	報告書作成・刊行
12	出張坂城跡	鶴岡市	報告書作成・刊行
13	鎌倉上遺跡	米沢市	報告書作成・刊行



平成23年度 イベントあんない!



センター参観デー

10月2日(日) 10時~16時

会場：山形県埋蔵文化財センター(上山市)



まがたま作りや土器と一緒に写真撮影など、
いろいろな体験ができます。
また、クイズスタンプラリーに参加すると、
景品をプレゼントします。



ふるさと考古学講座(2)・(3)は
事前申込が必要です。
イベントの詳細などは
山形県埋蔵文化財センターまで
お問い合わせください。

ホームページでも
紹介しています。



発掘調査速報会

12月11日(日) 13時~16時

会場：しょうよう 甌葉プラザ(村山市)



平成23年度発掘調査の成果を
写真を使って報告いたします。

ふるさと考古学講座(2)

「バスで遺跡を見に行こう！」

10月29日(土) 9時半~16時

見学地：東根市など(予定)



いろいろな遺跡をバスで
めぐってみませんか。



ふるさと考古学講座(3)

「昔の火起こしをさぐろう！」

会場：山形県埋蔵文化財センター(上山市)



昔の人々の火起こしを
体験しながら考えてみよう。

発掘調査説明会



発掘調査の成果を
現地です説明します。

企画展示



- ・山形空港(東根市)
- ・庄内空港(酒田市)
- ・東紅苑(東根市)
- ・うきたむ風土記の丘
考古資料館(高畠町)
4か所で展示会を行います。

※天候などにより、日程の一部を変更することがあります。

遺跡を掘ってみよう！



7月30日(土)に東根市の^{はったん}八反遺跡で「ふるさと考古学講座(1)遺跡を掘ってみよう！」を行いました。53名の方が参加し、移植^みべらや箕(土を集める道具)などを使って土器を探しました。



初めに、遺跡の概要や発掘の注意点などについて説明しました。



専務理事よりあいさつ



この遺跡は奈良・平安時代の遺跡で、須恵器や土師器などの土器が見つかっています。



見つけた土器はかごに入れていきます。小さな土器ばかりでしたが、子どもたちはとても喜んでいました。



見つけた土器の場所には、竹串で印をつけます。



雨上がりのため、ぬかるむ中での発掘になりました。

地域の歴史を知ろう!
昔のくらしを体験しよう!

出前授業

埋蔵文化財センターでは文化財の普及啓発事業の一環として、小中学校などで出前授業を行っています。
今年度実施した出前授業では、下記のように様々な体験を行いました。
他にも、勾玉作り、石器使用体験なども行っています。授業作り、学級作りに活用ください。



遺跡の講話

映像を使って大昔のくらしや地域の遺跡を説明します。(体験時間20分程度) 高畠町立高畠小6年

土器や石器にふれてみよう

身近な地域の遺跡から出土した本物の土器や石器にふれることができます。(体験時間15分程度) 山形市立鈴川小6年



弓矢飛ばし体験

動物の的をめがけて弓矢の体験。矢の先には布が巻いてあるので安全です。(体験時間15分程度) 米沢市立塩井小6年



火起こし体験

マイギリで火起こしを体験します。リズム感と根気が必要です。(体験時間30分程度) 舟形町立長沢小5・6年



縄文服で記念撮影

朝日町立大谷小6年



縄文食体験

ドングリやクルミなどの材料で縄文時代のクッキーを再現します。(体験時間40分程度) 東根市立長瀬小6年

整理室から

こんにちは! ⑤

整理作業の「写真撮影」について紹介します。センター内のスタジオで、土器や石器などの写真を撮る作業です。



センター内のスタジオの様子です。ここで、出土した遺物の写真撮影を行います。汚れやほこりが写り込まないように注意して、バランスを見ながら土器を並べていきます。



土器や石器などを上から撮影するためのセットです。ガラス板の上に並べて撮影します。



光は、撮影の重要なポイントになります。上、横、下のライトで光を当て、遺物がきれいに写るように調整します。



ピント・絞り・シャッタースピードなど、すべて手動。緊張の一瞬です。



主に使われている中判・大判のカメラです。カメラによって、フィルムの大きさも変わります。このほかに、デジタルカメラを使って撮影することもあります。



完成した写真は、報告書に掲載します。土器の集合写真は、報告書のカラーページなどに使います。



職員紹介



① きくち 菊池 げんき 玄輝

②宮城県

③埋蔵文化財は地域の歴史や文化の成り立ちを明らかにする手がかりとなるものです。自分が深く関わることになった山形の歴史・先人の生活の様子を、多くの人々に伝えられるところがこの仕事の魅力だと思います。



① あまもと 天本 まさき 昌希

②千葉県

③地面の下から具体的にどのような遺跡が発見されるかは、誰にもわかりません。意外なものが出土したときの驚きは、この仕事の大きな魅力だと思います。

センターでは昨年度、考古学を専門とする5名の財団職員を新規採用しました。その新人職員を紹介いたします。今後ともよろしくお願いいたします。



① おおば 大場 まさよし 正善

②宮城県

③土の中の生活の跡や遺物を見て、ふれて、製作・使用実験などをして、頭と体を使いながら、「過去にその場にいたヒトは何を考え、何をしていたのか」、そして今の私たちはどう生きていくべきなのかを考えることができます。

- ①氏名
- ②出身地
- ③考古学の魅力は？



① くさの 草野 じゅんぺい 潤平

②東京都

③埋蔵文化財センターの調査は、あらゆる時代の様々な人々の暮らしについて考えなければなりません。調査を通じて気付かされることも多く、新たに知りたい、学びたいという気持ちになれるところがこの仕事の魅力です。



① わたなべ 渡辺 かずゆき 和行

②福島県

③昔の人たちの暮らしが身近に感じられるところです。遺跡で見つかる生活の跡や道具を見ながら、その当時の人たちの生活の知恵を感じています。昔の人たちはみんなたくましかったのだろうか…。

秘宝館

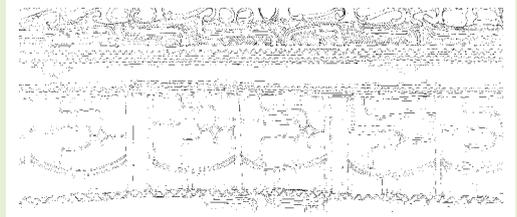
重要文化財指定 縄文土器編

みずきだ
水木田遺跡（最上町）

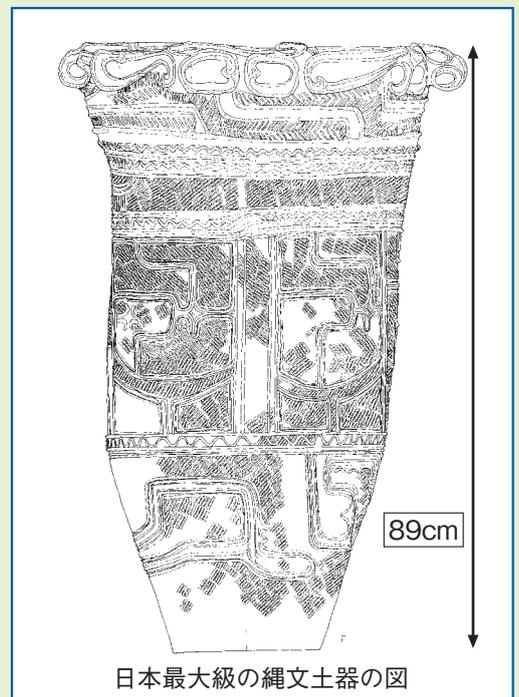
高さ89cmの縄文土器



水木田遺跡の縄文土器（深鉢）



土器の紋様



日本最大級の縄文土器の図

水木田遺跡は最上町にあり、県営ほ場整備事業の事前調査として、昭和53年4月～9月に発掘調査が実施されました。調査の結果、出土品は整理箱で約1,000箱、見つかった遺構は縄文時代中頃の竪穴住居跡8棟、土壙22基、集石遺構2基、配石遺構1基などでした。東北地方に広く分布する大木式と呼ばれる土器の優品が多数見つかっています。そのため、東北地方における縄文時代中期の文化の特徴を良く示す資料として、今年3月に国の重要文化財に指定されました。

指定品は、土器・土製品が136点、石器・石製品が194点の合計330点です。特に幾何学的な装飾のある高さ89cmの縄文土器（深鉢）は、これまでに山形県内で発見されたものの中では、1番大きな縄文土器になります。小さな子どもならずっぼり中に入ることができ、日本最大級のものといえます。

指定を記念して、10月8日から山形県立博物館でこれら水木田遺跡の出土品が展示されますので、ぜひご覧ください。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただけます。

電話 023(672)5301(代表)

編集後記

今年度は「センター参観デー」「バスで遺跡を見に行こう！」「発掘調査速報会」「昔の火起しを探ろう！」など子どもから大人まで楽しめるイベントを多数企画しています。興味のある方は是非ご参加ください。